

新春あいさつ

Trust ～信頼～

JICA理事長
北岡 伸一



JICAの理事長になって1年余り、さまざまな国を訪れ、
JICAの活動に対する好意的な意見を耳にする機会が数多くありました。
先日お会いしたフィリピンのドゥテルテ大統領も、
繰り返し日本、特にJICAの支援に感謝され、いつかお返しをしたいと言われました。

JICAが高い評価を得ているのは、事業の質の高さとともに、事業に取り組む姿勢が大きいと思います。
相手と対等の立場に立ち、何が相手の発展に本当に役立つのかを考える姿勢が信頼されているのです。
青年海外協力隊も、実際の活動の効果もそうですが、現地の生活と慣習の中に身を投じ、
現地の言葉を話し、相手の役に立ちたいという姿勢が信頼され、評価を受けているのではないのでしょうか。

昨今、日本は質の高いインフラの輸出に力を入れています、ここでも信頼が何より大切です。
私はインフラ輸出においては、重要性の高い順に、次の4点を満たす必要があると考えています。
第1に、その国の発展に本当に役に立つこと。
第2に、その国と日本との関係強化に役立つこと。
第3に、日本の企業や経済にとって利益があること。
第4に、JICAの予算の中で過大な負担にならないことです。

この順序を見失い、相手の立場ではなく日本にとっての利益を最優先に考えてしまうことがあれば、
長年築いてきた信頼に傷がつきます。信頼を築くには長い時間がかかりますが、壊れるのは一瞬です。
そして、いったん失った信頼を取り戻すのは簡単ではありません。
日本ブランドの本質は信頼ではないかと思います。
このことを見失うことなく、日々の国際協力を進めていきたいと思います。



昨年11月、バブアニューギニアの学校で活動する青年海外協力隊員を訪問